



AWS Summit

Tokyo



クラウド導入フレームワーク ～クラウド化の流れを実現するた めのフレームワークのご紹介～

Miha Kralj, Principal Architect
ミハ クラーリ, プリンシパルアーキテクト

June 2, 2015 | Tokyo, Japan



目的

- クラウド導入のパターン、モデル、視点（パースペクティブ）の紹介
- クラウド導入フレームワークの概要
- クラウド導入ロードマップの実例

ビジネスケースの必要性

財務

ITマネジメント
コスト

価値の創生

顧客

競争価格への
対応

高品質なIT
サービスの提供

社内業務

規模の経済の
活用

ITの生産性の
向上

ITサービスの
品質管理

プラットフォームと
アーキテクチャの統一

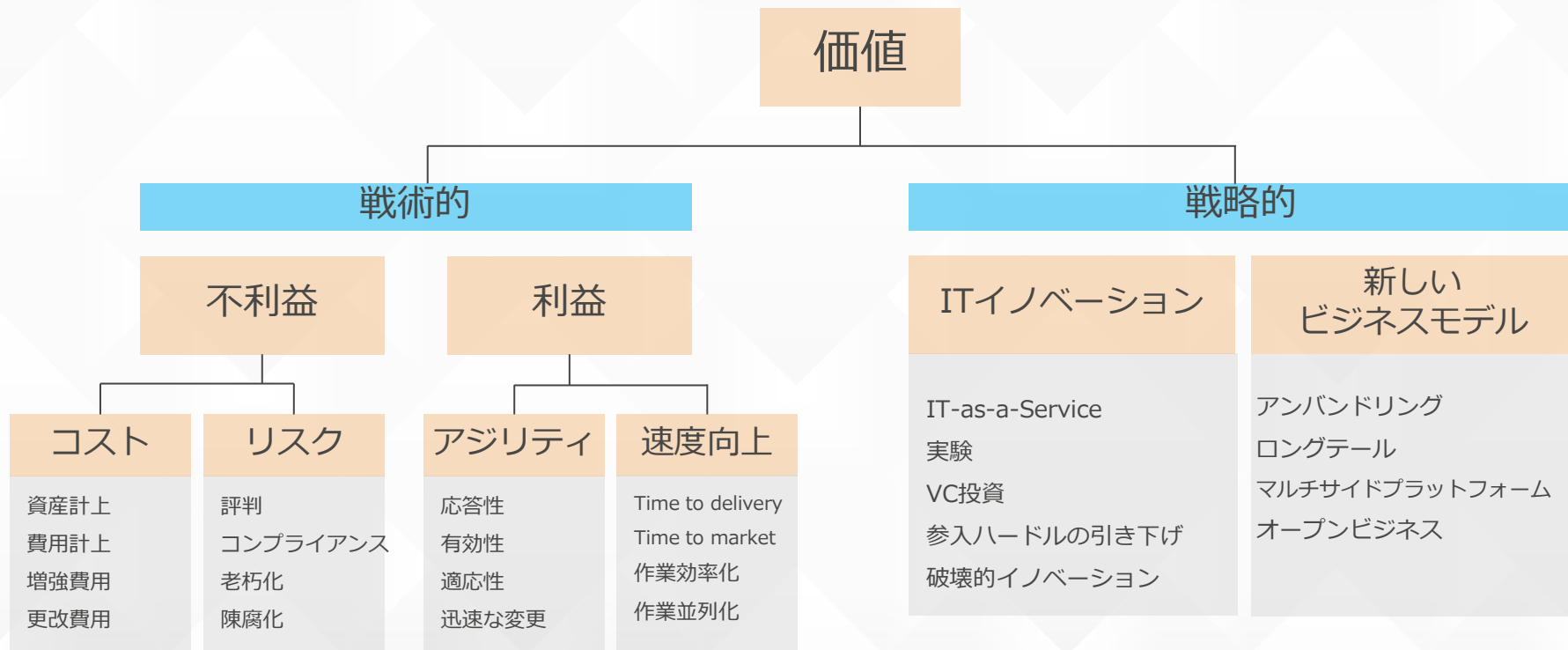
学習と成長

イノベーション
文化の推進

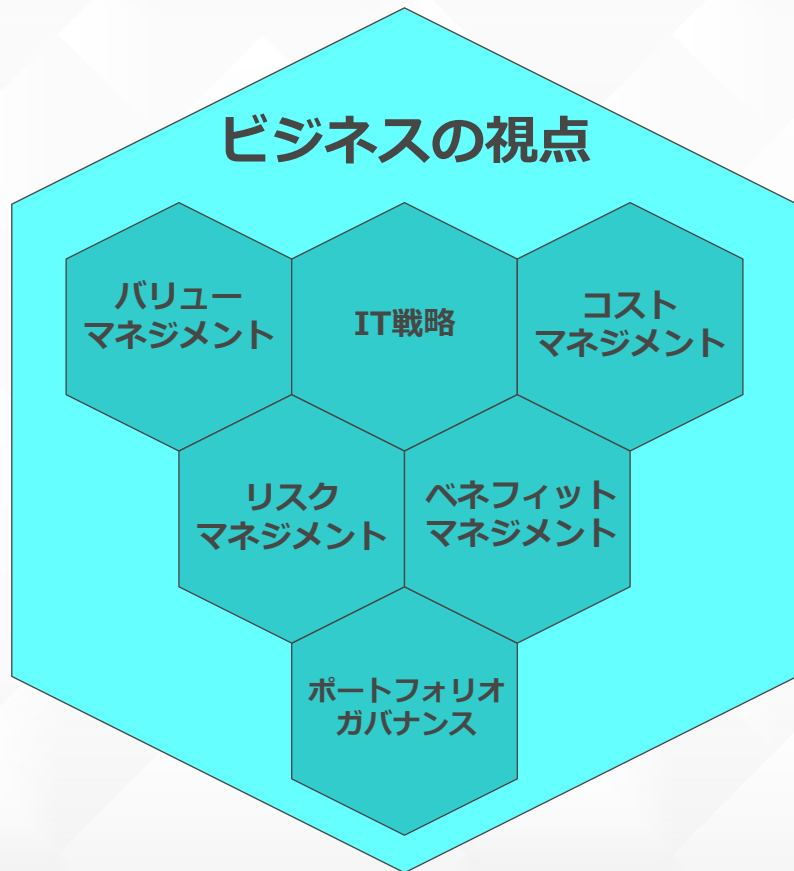
イネープリング
テクノロジー
の獲得

- AWSクラウドの導入に見合う戦略的な目標は何か？
- AWSクラウドの導入にどのような利益を期待すべきか？
- AWSクラウドはITとビジネスのより効果的な連携にどのように役立つか？
- どのようなニーズ、アプローチ、メリット、コストがあるか？
- クラウドテクノロジーの有用性と利益をどのような尺度で評価するか？

クラウド導入のビジネス価値

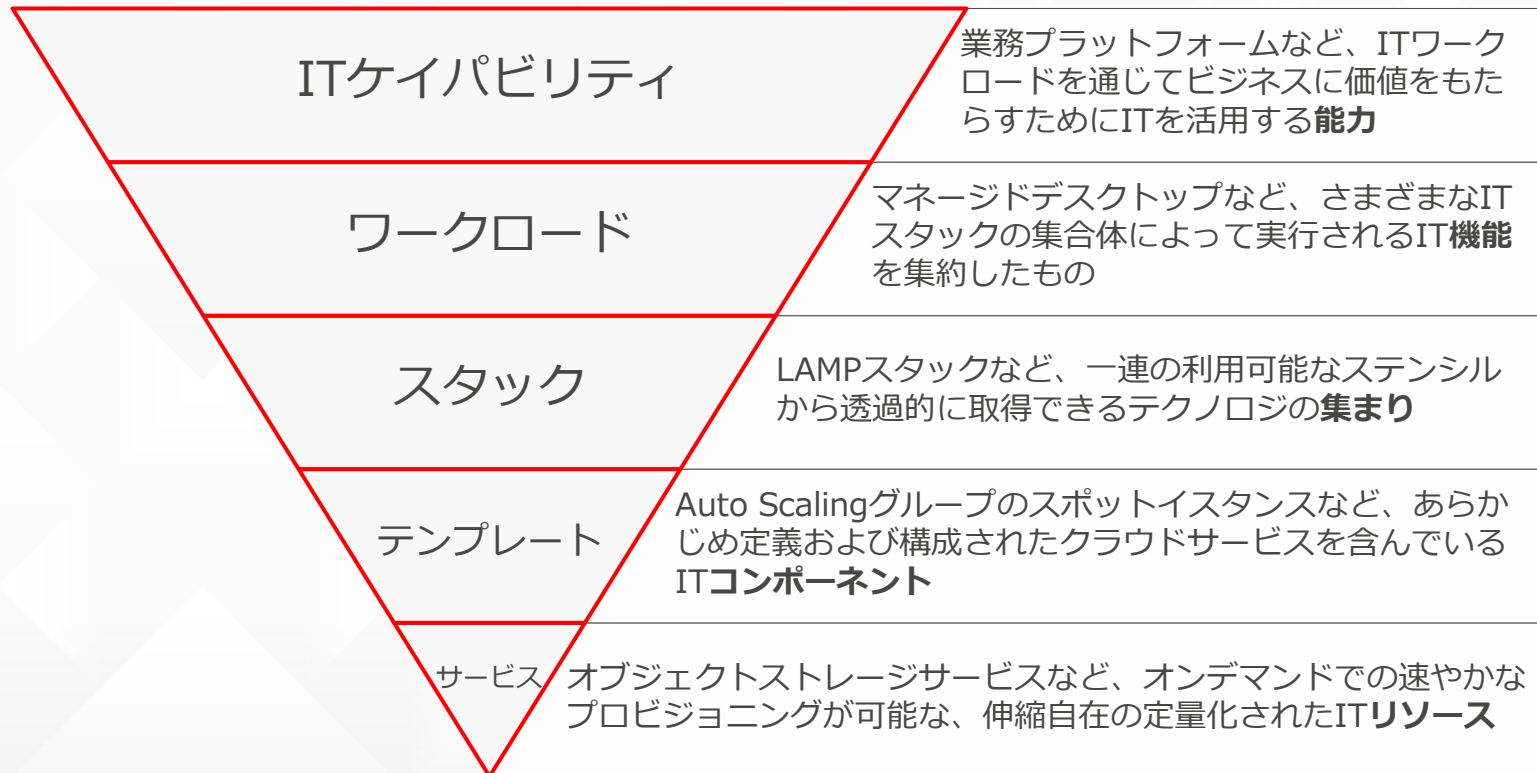


ビジネスの視点 – 構成要素

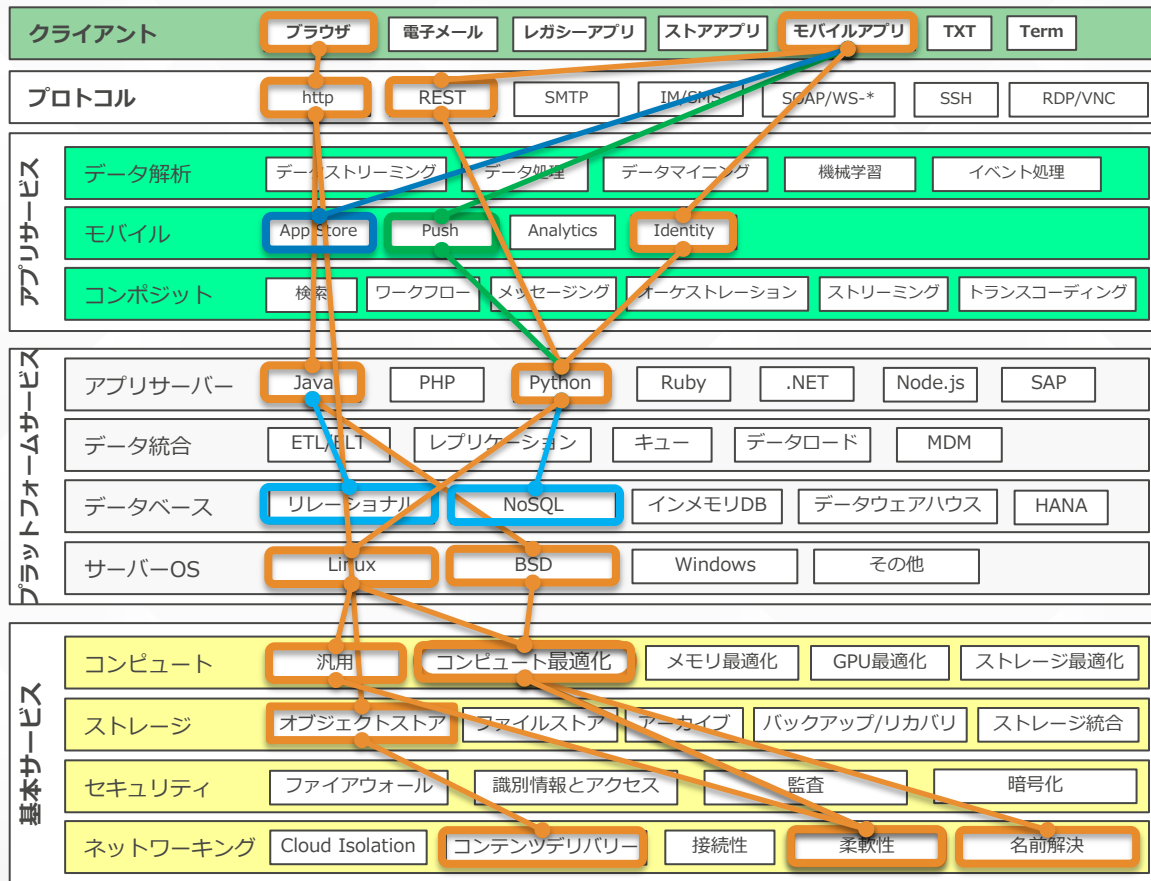


クラウドコンピューティングの導入を通じて、
ビジネスインパクトの最大化を図るにあたり、
ITが最適な方法で利用されるよう、ビジネス
スタッフとITスタッフが共同で取り組まな
ければならない領域

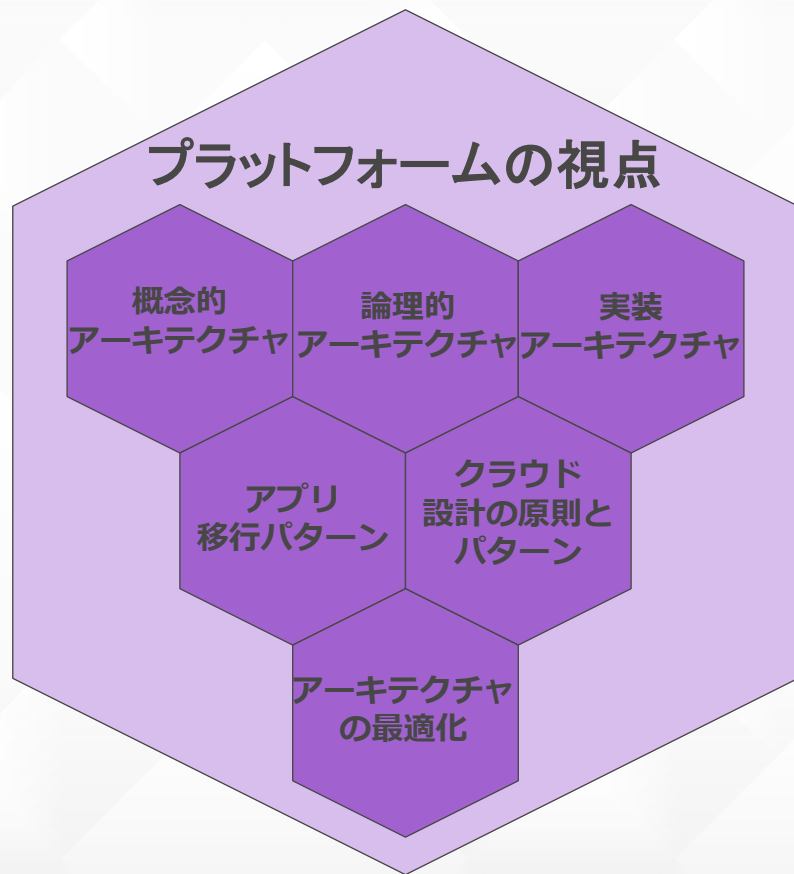
クラウドプラットフォームとケイパビリティ



クラウドプラットフォーム – モデル化のキャンバス

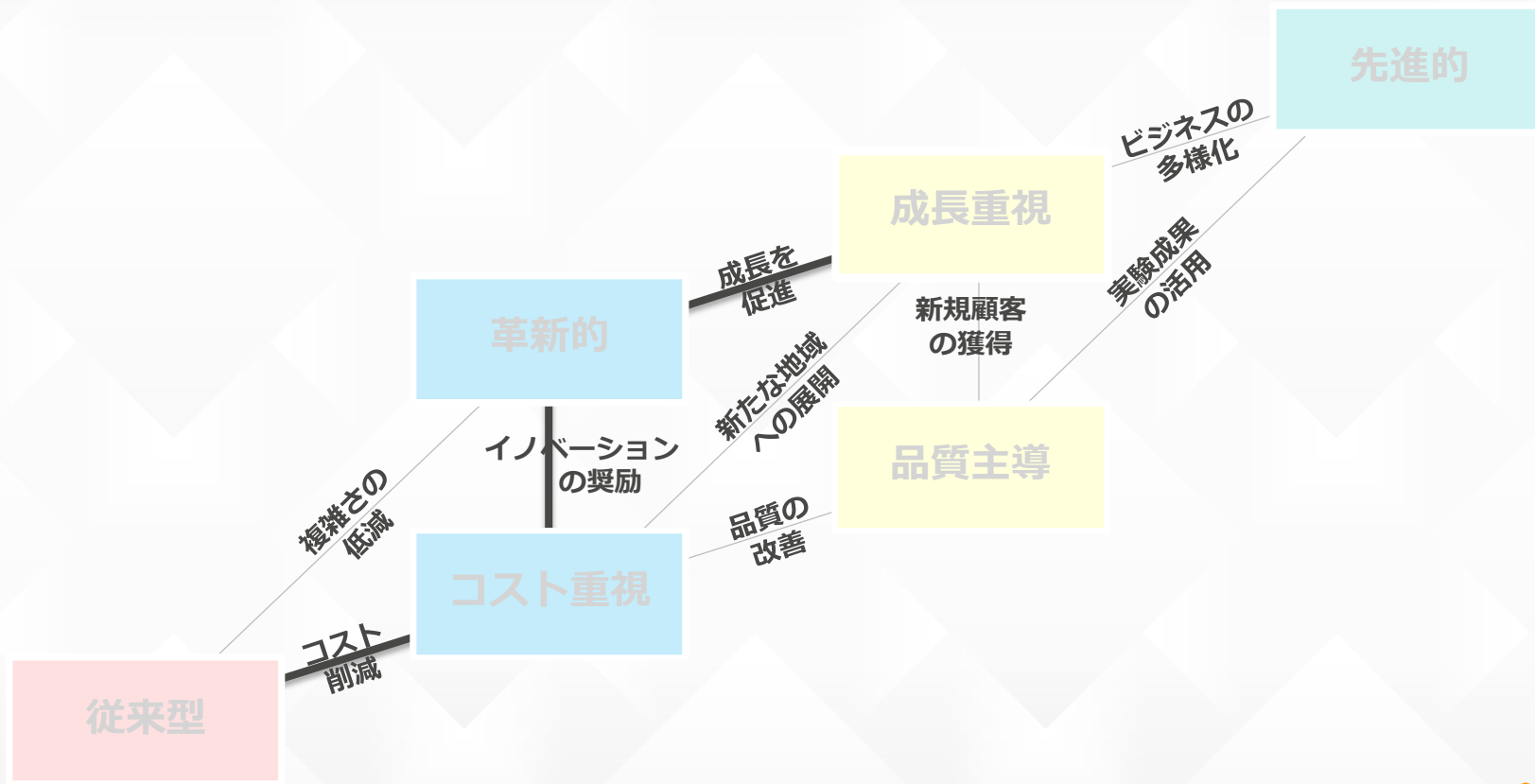


プラットフォームの視点 - 構成要素



複数の環境にまたがるITシステムを結合
および統合し、必要な機能セットを提供し、
運用と管理を可能にするために、ITデリバ
リースタッフが共同で検討しなければならない領域

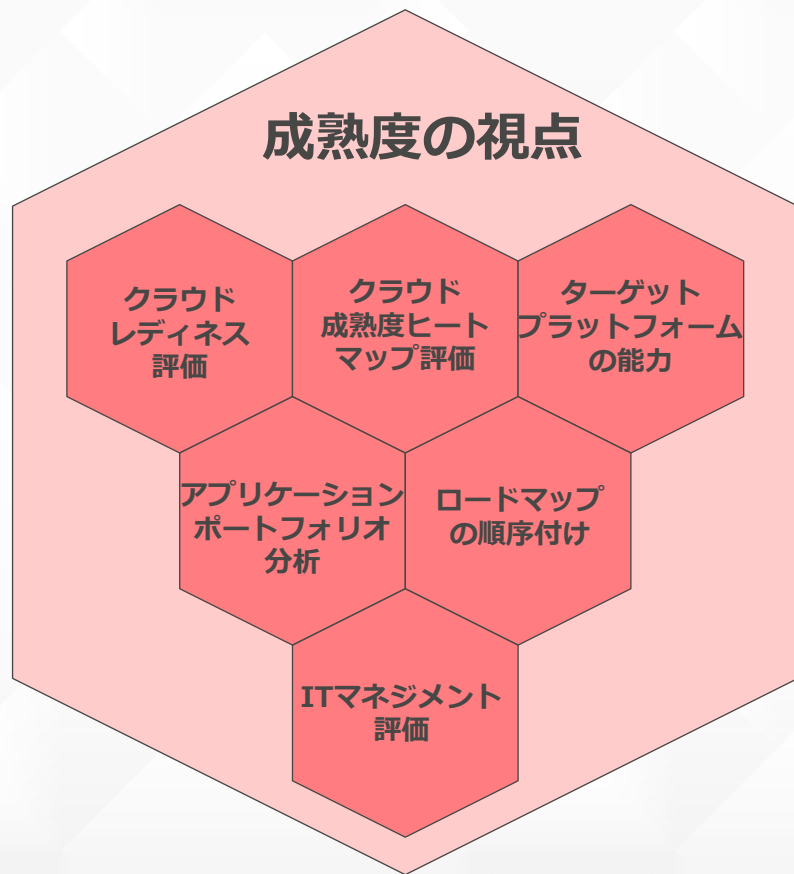
導入工程の計画



現在の成熟度の分析

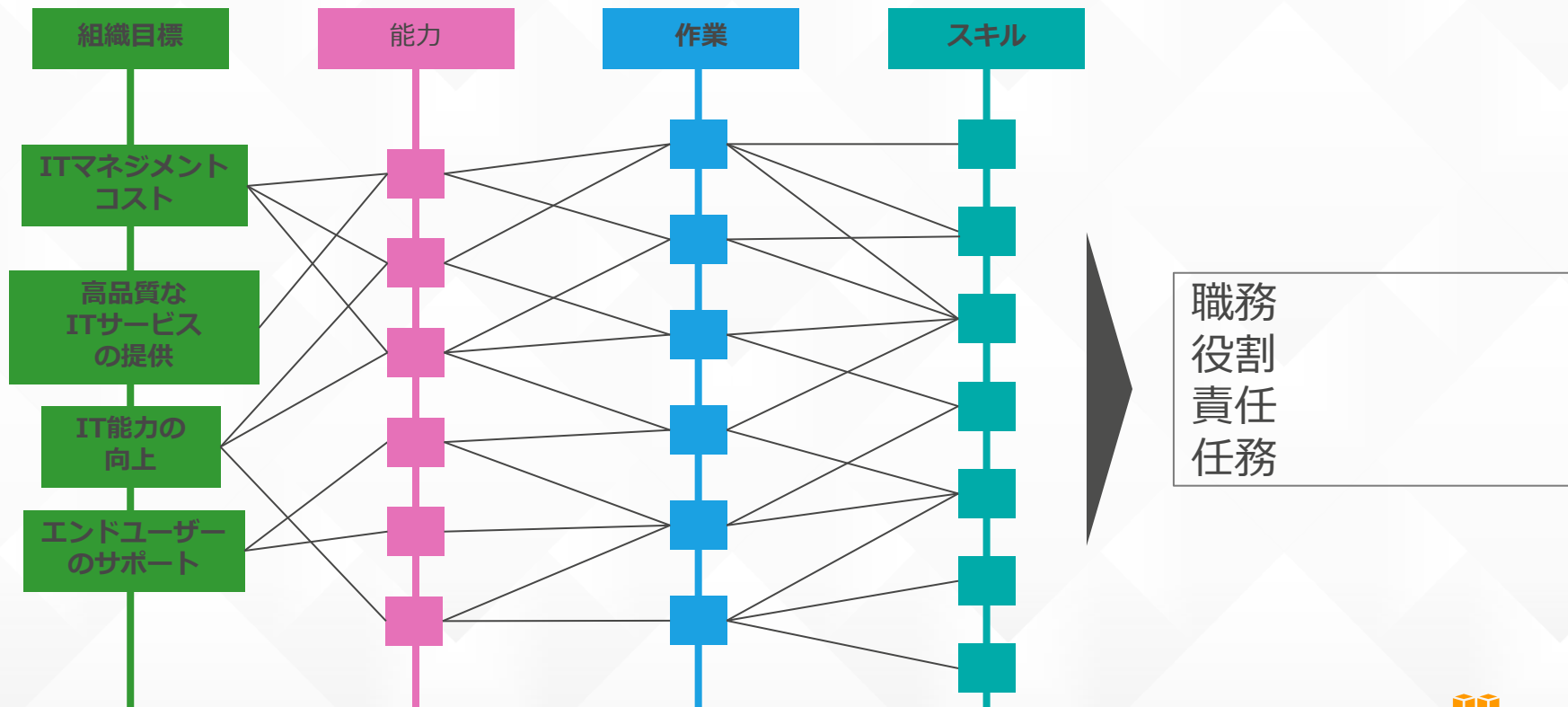
		戦略	分析	設計	移行	運用	改善
ITマネジメント	戦略	事業価値に基づく戦略	ベネフィット評価	クラウドの能力	クラウドの導入	コストと請求	コスト最適化
	プロセス	計画プロセス	参画プロセス	開発プロセス	デリバリープロセス	ITSMプロセス	最適化プロセス
	人	人員配置計画	技術力の評価	役割と責務	技能の検証	仕事の成果	クラウドのレディネス
GRC	ガバナンス	クラウド環境の監視	GRC報告	クラウドアーキテクチャのレビューポイント	クラウド移行の監視	職務の分離	クラウドガバナンスメトリクス
	リスク	テクノロジーリスクアプローチ	クラウドリスクマネジメント情報	共通制御アーキテクチャ	GRC移行プロジェクト管理	クラウド制御作業	積極的なクラウドリスク低減
	コンプライアンス	クラウドコンプライアンス要件	重要なコンプライアンス情報	クラウドアーキテクチャコンプライアンス	ハイブリッドコンプライアンス制御	クラウドコンプライアンスワークフロー	クラウドコンプライアンスの結果
テクノロジーとアーキテクチャ	アプリケーション	SWアーキテクチャ規範	変更追跡	開発規範	開発/テスト環境	構成管理	Q/A
	情報	情報アーキテクチャ	データ分類	クラウドデータベース	クラウドストレージ	データバックアップ	データインサイト
	インフラ	インフラストラクチャアーキテクチャ	システム配置	通信環境の設計	インフラストラクチャの自動化	インフラストラクチャ構成管理	運用状態

成熟度の視点 – 構成要素

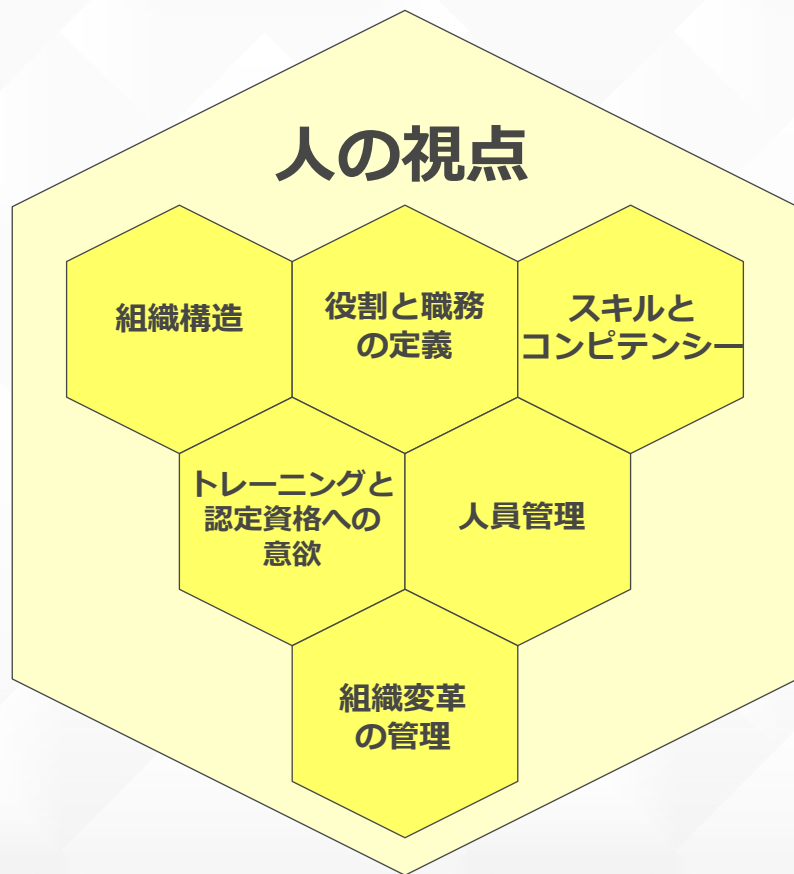


成熟度モデルの計画と、効果的なクラウド利用について、構造化され体系化された評価を行うために、IT戦略担当が共同で検討しなければならない領域

スキルの評価と職務



人の視点 – 構成要素



効率的なIT変革を可能にするために、個人のコンピテンシーと、組織的なキャパシティ、能力、変更管理機能を確立すべく、経営スタッフが共同で検討しなければならない領域

2つの速度で進むITライフサイクル

戦略

分析

設計

移行

運用

改善

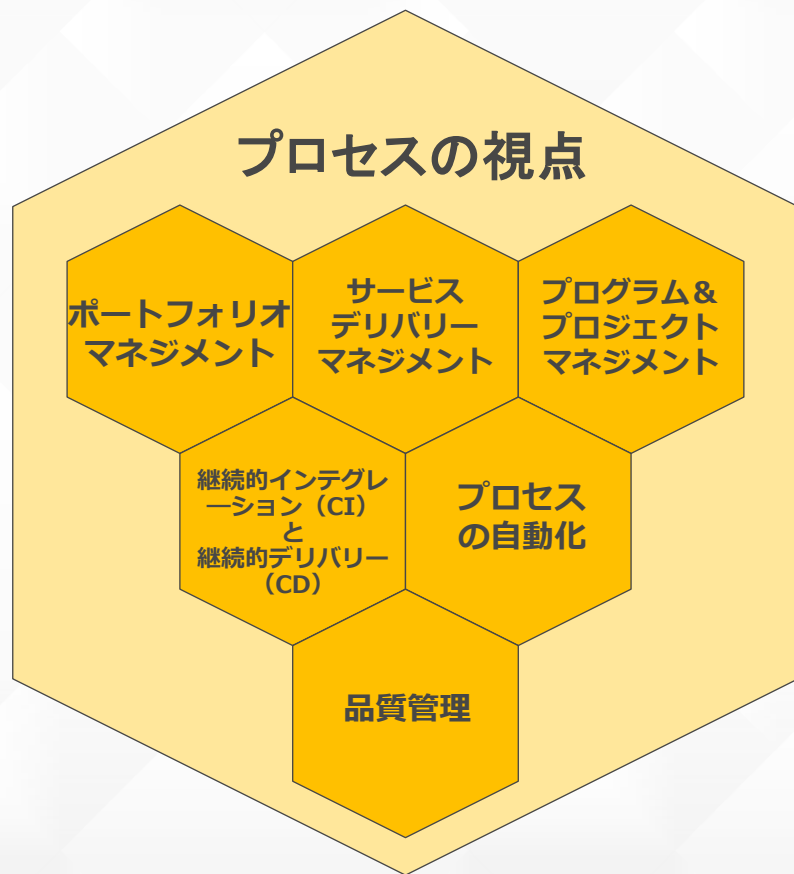
- 現状の評価と分析
- 戦略的ビジョンと方向性の定義
- 財務、GCR、組織構造の設定
- デリバリーを開始する前の検証

- 定義された期待値を達成する、またはそれを上回るITサービスの開発/構築/コーディング
- テスト計画と受け入れ基準に対するITサービスのテスト/検証
- ITサービスへの移行とデプロイ

- 効果的で継続的なサービスの管理
- ガバナンスと監視
- 新たなアクティビティの開始
- フィードバックループと最適化

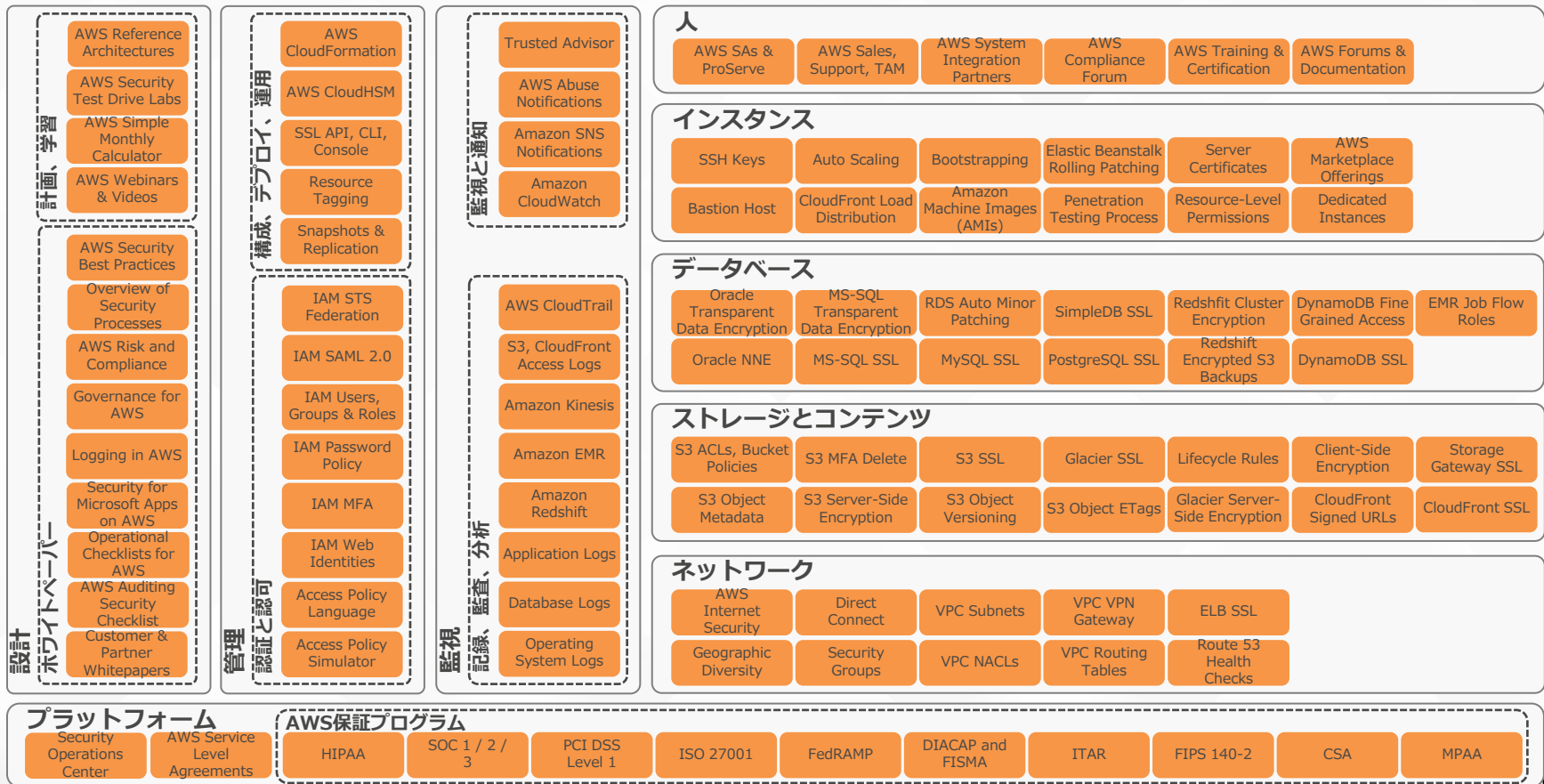


プロセスの視点 – 構成要素

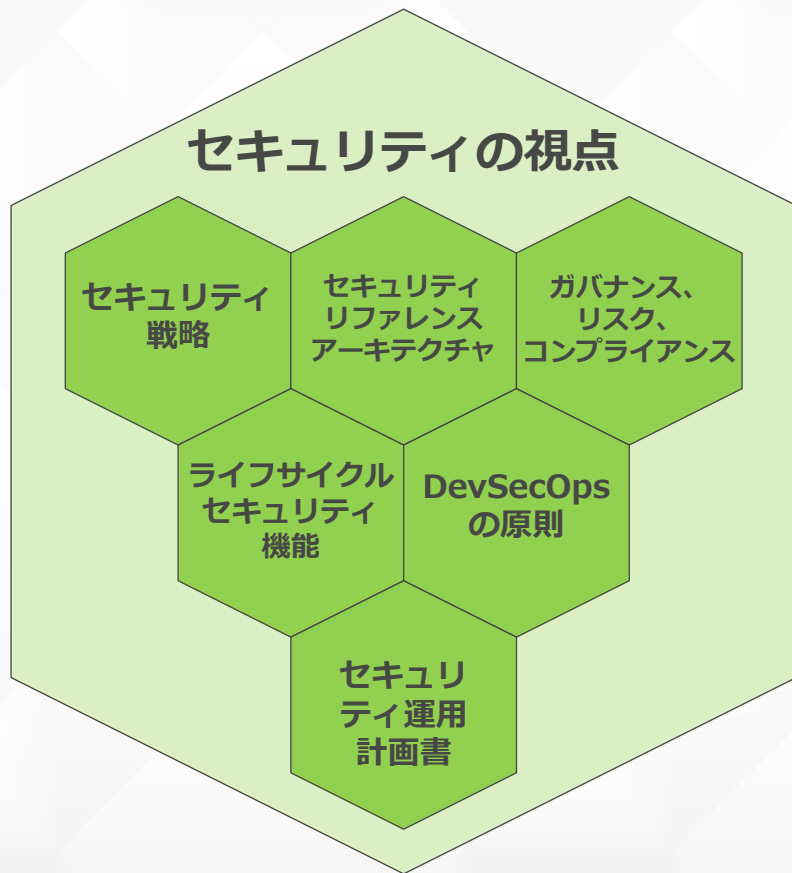


ITライフサイクル、作業の構造化、プロセスのリエンジニアリング、品質保証、および合意した成果のデリバリー管理に、ITデリバリースタッフが共同で取り組む領域

セキュリティ リファレンス アーキテクチャ

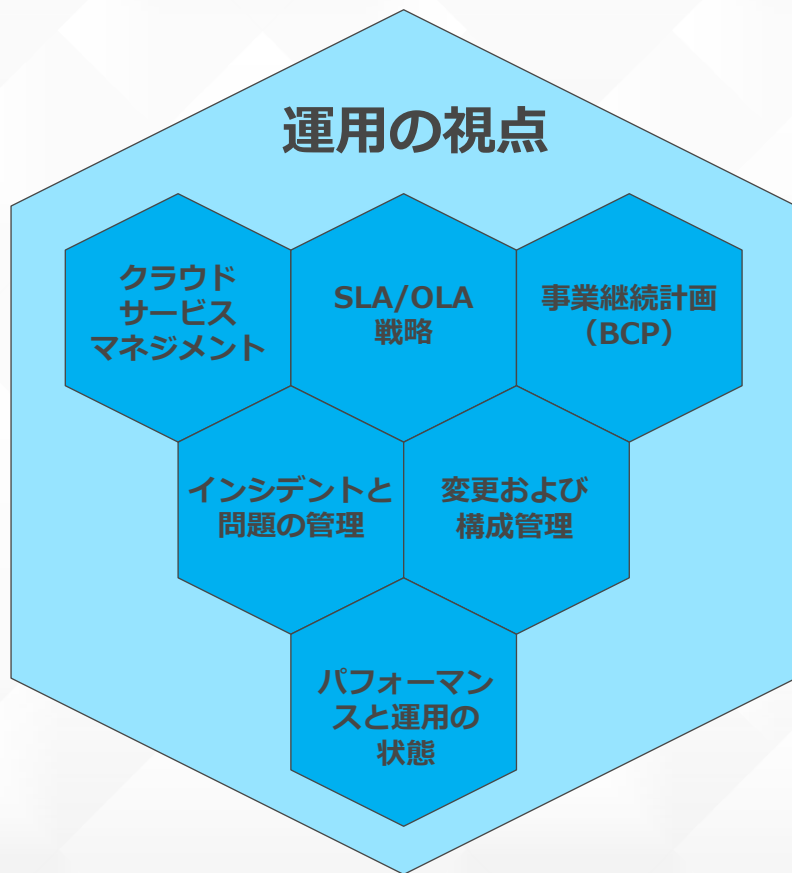


セキュリティの視点 – 構成要素



組織のセキュリティプロセスとコンプライアンスプロセス、システム、人事に関する構造と振る舞いを包括的かつ厳格な方法で表現できるようにするために共同で作業する領域

運用の視点 – 構成要素



ビジネスのステイクホルダーと合意したレベルのITワークロードの有効化、実行、使用、運用、復元を行うために共同で作業する領域

クラウド導入フレームワーク – 全体像



AWSクラウド導入フレームワーク（CAF）は、最新のITサービスの計画、開発、管理、サポートにおけるさまざまな視点を構成し、定義

AWSクラウド対応の環境の確立、開発、実行のための実用的なガイダンスと包括的なガイドラインを提供

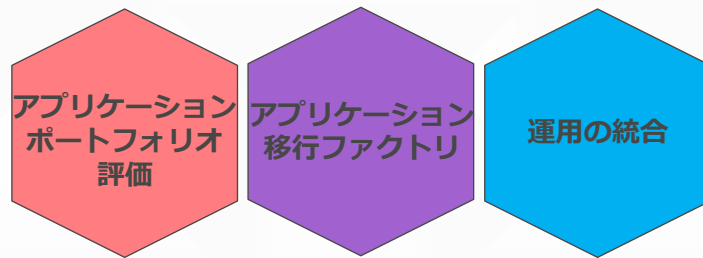
現代のITオートメーションとプロセスの最適化に基づき、共通の戦略やビジョンに向かって、ビジネスとITが共同で取り組むことができる構造を提供

ホワイトペーパー: <http://bit.ly/AWSCAF>

ロードマップの作成と導入



小規模導入のロードマップ – 例



中規模導入のロードマップ – 例



大規模導入のロードマップ – 例

戦略

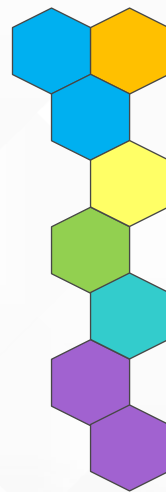
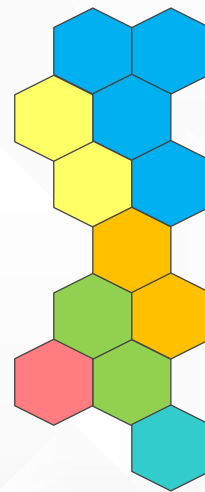
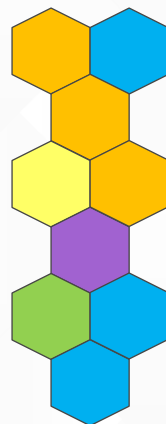
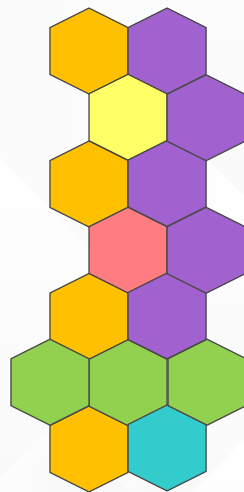
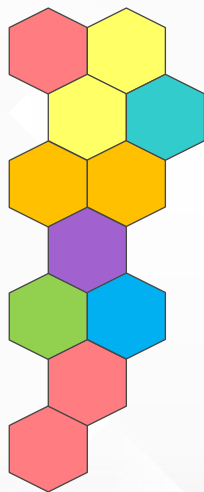
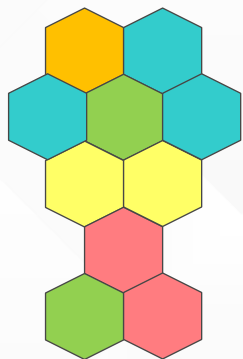
分析

設計

移行

運用

改善



まとめ

- クラウド導入フレームワーク（CAF）は複雑なクラウドプログラムを管理しやすいコンポーネントに分割
- コンポーネントベースのモジュール型のアプローチを採用しているため、CAFでは非常に明確でスケーラブルな導入ロードマップの作成が可能
- CAFホワイトペーパー：
<http://bit.ly/AWSCAF>





Thank You